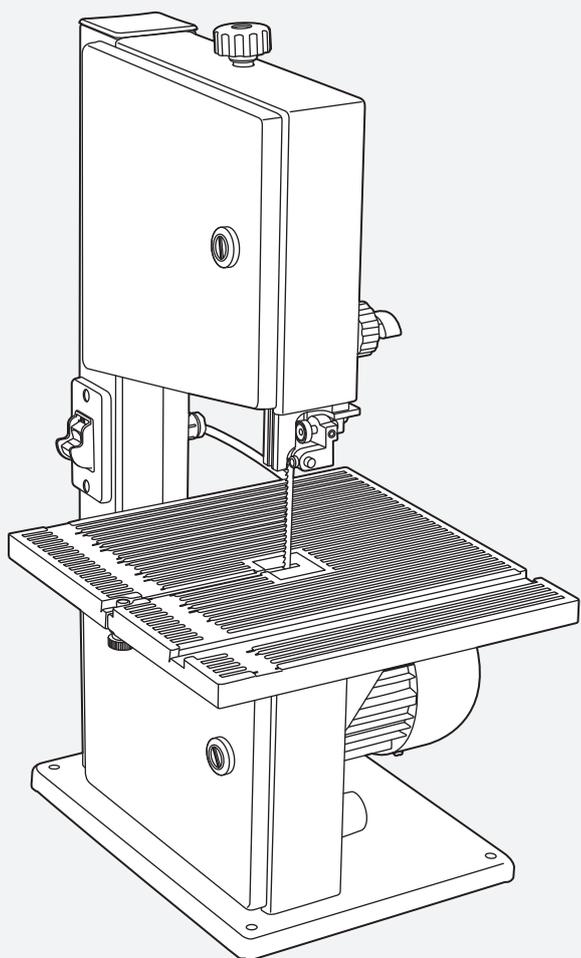


卓上木工 バンドソー RBS-195A



お客様へ

●本製品は家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。

取扱説明書

ご使用前に本紙最終ページ「保証書」を必ずお読みになり、内容をご確認・ご了承ください。

また、取扱説明書の内容を十分理解したうえで使用し、お手元に大切に保管してください。

目次

お使いになる前に 1

安全にお使いいただくために

電動工具を安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために

本製品について 8

用途

各部の名称・セット内容

仕様

能力

使用前の準備 10

調整・組み立てについて

ブレードの調整

ブレードガイドの調整

テーブル・その他の取り付け

各部の調整

使い方 16

使用について

試運転

使用方法

交換用バンドブレードについて

ブレードの取り付け・取り外し

お手入れ 21

保守・点検

お買い上げの後に 22

別売品のご紹介

保証書

お使いになる前に

安全にお使いいただくために

- 必ず取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。取り扱いに不慣れな人や正しい操作のできない人はお使いにならないでください。
- 本製品を正しく安全にお使いいただき、ご自身や周囲に危険がおよぶ可能性を防止するために、下記のように『警告』『注意』『注』の3種に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってお使いください。また、本製品は家庭用として開発されています。家庭用としてお使いください。
- 『注意』に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
 注意	人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容
 注	本製品や付属品の取り扱いなどに関する重要な注意事項

電動工具を安全にお使いいただくために

※本項目は共通項目ですので、製品により内容が一致しない場合があります。

警告

- 1. 作業場所はいつもきれいに保ってください。**
 - 作業場所はいつも整理・整頓し、きれいに保ってください。また、作業の妨げになる物は取り除いてください。
- 2. 作業場の周囲状況も考慮してください。**
 - 作業場は十分明るくしてください。
 - ガソリン・シンナー・塗料・接着剤など引火性の液体や可燃性の物、ガスのある場所では使用しないでください。(爆発・火災の原因)
 - 濡れた所や湿気の多い所・雨中では使用しないでください。(感電・故障の原因)
- 3. 作業以外を近づけないでください。**
 - 特にお子様は作業場や本製品に近づけないでください。
- 4. 作業に適した服装で作業してください。**
 - 作業をするときは保護メガネを着用してください。
 - 作業に適した服装(すそじまりの良い長袖・長ズボン)で作業してください。だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。

- 軍手など巻き込まれる恐れのある素材の手袋は着用しないでください。
- 長い髪は帽子などで覆ってください。
- 粉じんなどが多く発生する作業では保護マスクを着用してください。
- 作業音の大きい場合は、耳栓・耳覆い(イヤマフ)など防音保護具を着用してください。

5. 損傷した部品がないか確認してください。

- 商品開封後は梱包内容を確認し、輸送による破損・ゆりみ・ひび割れなど本製品や付属品に異常がないことを確認してください。
- 作業前には必ず試運転を行い、本製品の破損・ゆがみ・異常音などがいないことを確認してから作業してください。
- 本製品を誤って落としたりぶつけたときは、破損や亀裂がないことを確認してください。

6. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書に記載されている付属品やアタッチメント以外の物は使用しないでください。

また、取扱説明書に従って正しく取り付けてください。(部品脱落や故障によるケガの原因)

7. 調整や点検に用いた工具は必ず取り外してください。

- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、調整・取り付けに用いた工具が取り外されていることを確認してください。

8. 作業に合った電動工具を使用してください。

- 小型の電動工具やアタッチメントは大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

9. 無理な使用をしないでください。

- 安全に能率良く作業するため、電動工具の能力に合わせて作業してください。
- 足元の不安定な場所や無理な姿勢で使用しないでください。

10. 感電に注意してください。

- 濡れた手での取り扱いや電源プラグの抜き差しはしないでください。(感電の原因)
- 本製品の使用中に、身体をアース(接地)されている物(エアコンの室外機や金属製の支柱など)に接触させないでください。(感電の原因)

11. 通気孔をふさがないでください。

- 本製品の通気孔は本体を冷やすために必要ですので、布などで覆ってふさがないでください。(火災・故障の原因)

お使いになる前に(続き)

12. 使用電源は必ず家庭用 AC100V電源を使用してください。

- 200V用電源に接続して使用しないでください。(火災・故障の原因)
- 発電機やインバータ電源・DC電源・仮設電源での使用はしないでください。
(火災・故障の原因)

13. コードなどの取り扱いに注意してください。

- 使用する前に、必ず電源コード・電源プラグを点検してください。無理に引っ張ったり挟んだりしないでください。また、コードを高熱の物・油や角のとがった所に近づけないでください。(火災・感電・故障の原因)
- コンセントから電源プラグを抜き差しするときは、必ず電源プラグを持って抜き差ししてください。(火災・故障の原因)
- 作業員以外は本製品やコードに触れさせないでください。
- 感電防止のため、漏電遮断器の設置をお勧めします。

14. 不意な始動はさけてください。

- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
- 本製品を移動する場合や付属品を交換するときは、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、スイッチに指をかけて運ばないでください。
- 使用しない場合・作動すると危険な場合・停電のときは電源プラグをコンセントから抜いてください。

15. 本体作動部には触れないでください。

- 作動中回転部やその付近に手や身体、顔を近づけないでください。(ケガの原因)

16. 作動している状態のまま放置しないでください。

17. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。

- 高所作業のときにコードを引っ掛けたりした場合、事故・ケガの原因となります。

18. 油断せず、十分注意して使用してください。

- 本製品を使用する場合は、取扱方法・作業の仕方・周りの状況などに十分注意して慎重に使用してください。
- 疲れていたり、体調のすぐれないときは使用しないでください。
- 長時間の連続作業は疲労による事故の原因となります。

19. ヤケドに注意してください。

- 使用直後は、本体(モーター)や加工物が熱くなっていることがあります。冷えるまで直接手肌に触れないようにしてください。

20. 定期的に点検してください。

- 電源プラグ・通気孔にほこりや粉じんなどが付着している場合には、よく取り除いてください。(火災・故障の原因)

21. 使用しないときはきちんと保管してください。

- 使用しないときは、直射日光のあたらない・風通しの良い・乾燥した場所で、お子様の手の届かない安全な所や、カギのかかる所にきちんと保管してください。

22. 分解・改造をしないでください。

- 本製品にはいかなる改造も加えないでください。

23. ご自分で修理しないでください。

- 故障・異常時はただちにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて本製品の使用を中止し、お買い上げの販売店にお申しつけください。または(株)高儀「お客様相談窓口」に相談してください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると事故やケガの原因となります。

**この取扱説明書は大切に保管してください。
また、本製品を貸し出す場合は、この取扱説明書も一緒に渡してください。**

注意

1.延長コードを使用する場合

- 延長コードが必要な場合は、定格電流が15A以上の物を使用してください。(最大20mまで)
- ドラム式の延長コードを使用する場合は、発熱による電圧降下や火災事故を防止するため、コードは全て引き出して使用してください。
- 使用する延長コードの取扱説明書・注意事項などをよく読み正しく使用してください。

2.本製品は短時間の使用を前提に設計されています。

- 長時間の連続使用はしないでください。(故障・破損の原因)

3.騒音に注意してください。

- 法令および各都道府県などの条例で定められた騒音防止規制を守り、周辺に迷惑をかけないように状況に応じて遮音壁を設けるなどして規制値以下で使用してください。

4.作業後の加工物に注意してください。

- 作業直後の加工物は熱くなっていることがあります。冷えるまで直接手肌に触れないでください。(ヤケドの原因)
- 作業後の加工物には、かえりができていることがありますので注意してください。(ケガの原因)

5.こまめにお手入れしてください。

- 安全に能率よく作業するために刃物類は常にお手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 本製品は定期的に点検し、損傷している場合はお買い上げの販売店に修理をお申しつけください。または(株)高儀「お客様相談窓口」に相談してください。
- 本製品に油やグリースが付着した場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れの著しい場合は、薄めた中性洗剤を使用して水拭きしてください。その後、乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。
- ワックス・アルコール類・シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。(故障・破損の原因)

6.その他

- 火のそばや閉め切った車内・直射日光のあたる場所・高温になる場所には、放置・保管しないでください。変形・変色・劣化の恐れがあります。

本製品を安全にお使いいただくために

警告

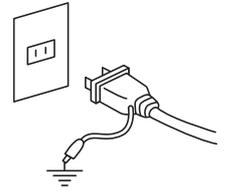
1. 使用電源は必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。
2. 本製品は刃物を高速に回転させる電動工具です。使用するときは細心の注意を払い、必ず取扱説明書を読み、使用方法を理解したうえで使用してください。取り扱いに不慣れな人、正しい操作のできない人には使用させないでください。
3. 切断中にこじったり、加工物を強く押しつけたりしないでください。(ケガ・故障の原因)
4. 作業時、ブレードで電源コードを切断しないよう注意してください。
5. ブレード・テーブルなどパーツの取り付けは必ず確実に行ってください。ブレードの取り付け方向を間違えないよう注意してください。
6. 指定以外のブレードは使用しないでください。また取扱説明書に従い確実に取り付けられているか確認のうえ使用してください。
7. 加工する対象物の中に異物(釘や鉄筋など)がないことを十分に確認してください。
 - 加工中、異物にブレードが触れると刃こぼれだけでなく、強い反発力が生じケガの原因となります。
8. 使用中は、加工物を確実に保持してください。
 - 切断開始・終了直前に強い反発力が生じます。確実に保持していないと、ケガの原因となります。
9. あまりにも小さな物や、安定しない丸太などの切断は危険ですのでしないでください。
10. 切断中、ブレードを回転させた状態で加工材を戻さないでください。(ケガ・故障の原因)
 - 加工材を戻す場合は、スイッチを切り、回転が完全に止まってから戻してください。
11. 回転中にブレードテンション調整ノブやブレード軌道調整ノブは絶対に回さないでください。(ケガ・故障の原因)
12. 回転中・作業直後のブレードや切りクズは危険です。絶対にさわったり、顔を近づけたりしないでください。(ケガの原因)
 - スイッチを切ったあとも、ブレードはある程度惰性で回転し続けます。ブレードが完全に停止するまで手を触れないでください。(ケガの原因)
13. 作業直後、加工物・本体・ブレードは大変熱くなっています。冷えるまで直接手肌に触れないでください。(ヤケドの原因)
14. 取扱説明書に記載されている用途、または能力以上の作業に使用しないでください。特にモーターをロックさせるなどの無理な使用はしないでください。
15. 故障・異常時はただちにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて本製品の使用を中止し、お買い上げの販売店にお申しつけください。または(株)高儀「お客さま相談窓口」に相談してください。

お使いになる前に(続き)

アース(接地)について

⚠ 警告

- 必ずアース(接地)を行ったうえで使用してください。故障や漏電のときの感電防止のために必要です。
- アース線をガス管に接続しないでください。(火災・爆発の原因)
- 電源は必ずアース端子のついている物を使用してください。アース端子のない場合や、アースの埋め込みなどは専門の電気工事店に相談してください。



⚠ 注意

- 1.本製品は家庭用です。建築作業など精度が必要な作業には使用しないでください。
- 2.必ず安定した場所で作業してください。
 - 傾斜のない平坦な場所にすえつけて作業してください。不安定な場所で作業するとケガ・事故の原因となります。
- 3.常温(0~40℃)で使用してください。

◇ 注

- 1.モーターの回転中に本体通気口から火花が見えることがありますが、故障ではありません。
- 2.定期的に清掃してください。
 - 電源プラグ・電源コードに切りクズなどが付着している場合にはよく取り除いてください。

本製品について

用途

◆ 木材の直線・曲線切断に

各部の名称・セット内容

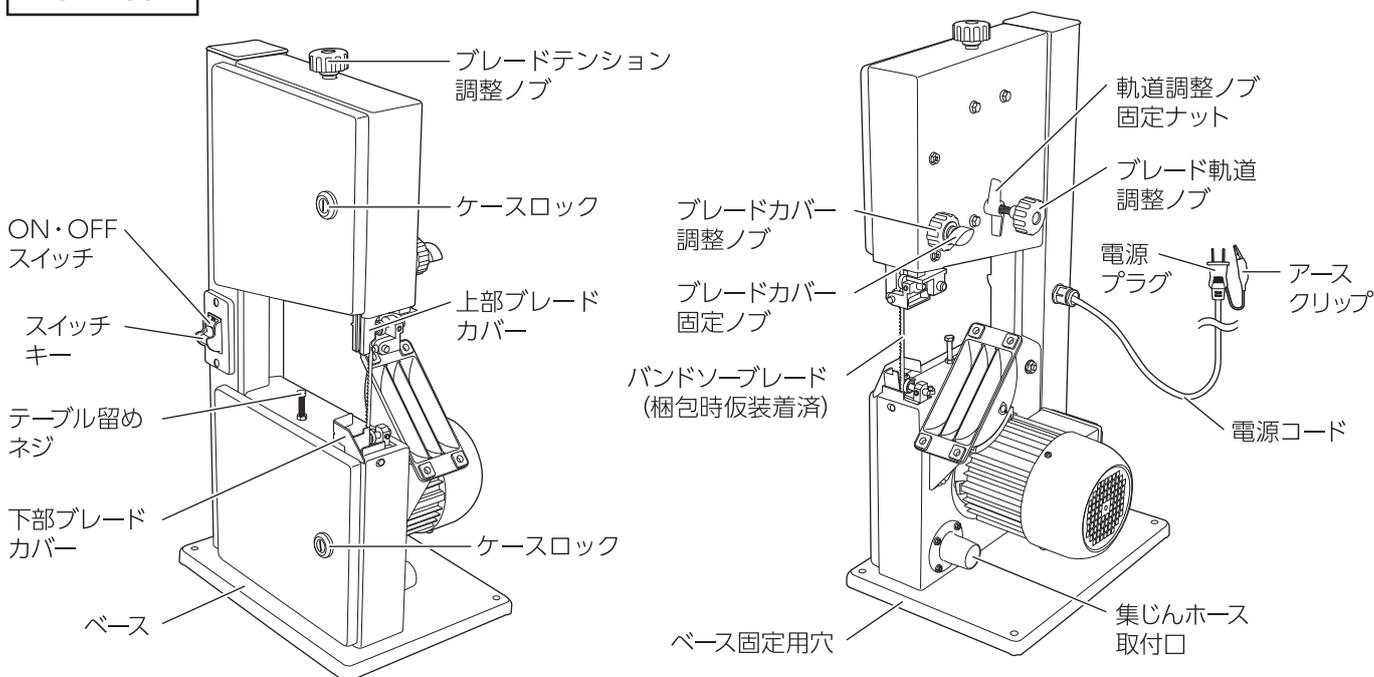
要確認

初めて梱包を開封したときは、下記の内容について確認してください。

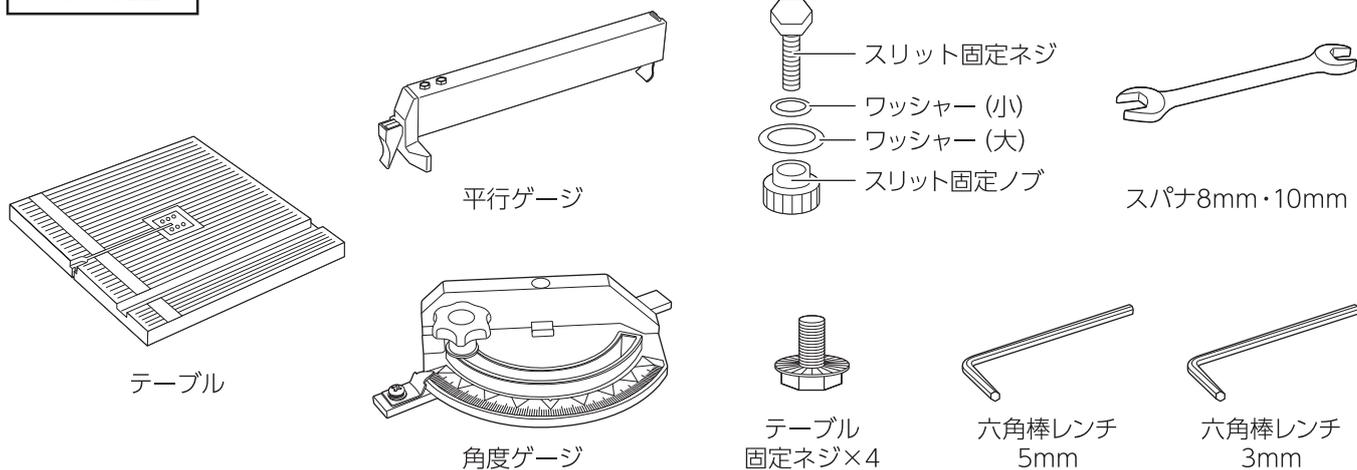
●付属品が全て揃っているか ●破損した箇所はないか

万一不具合な点がありましたらお買い上げの販売店または(株)高儀までご連絡ください。

本体



付属品



本製品について(続き)

仕様

電 圧	AC100V	テーブル寸法	約300×300mm
周 波 数	50/60Hz	テーブル高さ(本体取付時)	約290mm
電 流	3A/2.6A	ベース寸法	約335×250mm
定格消費電力	250W	ブレード寸法	(周長)1,400mm (刃幅)6.35mm (山数)6山/インチ (刃厚)0.35mm
無負荷回転数	680/810min ⁻¹		
ブレード速度	約15/18m/s		
ホイール径	約205mm	本体サイズ (テーブル含む)	約長さ445×幅365× 高さ665(mm)
ふところ奥行	約195mm	コード長	約2.0m
集じんホース接続径	外径約φ40mm	質 量	約16.3kg
テーブル傾斜角度	0°~45°(右下がり傾斜のみ)	定 格 時 間	30分

※商品改良のため、仕様・外観は予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

能力

テーブル水平時	最大約80mm	テーブル45°傾斜時	最大約40mm
---------	---------	------------	---------

使用前の準備

調整・組み立てについて

警告

- 梱包時ブレードはゆるめてあります。ブレードの調整をせずにスイッチを入れるとブレードが外れ大変危険です。使用後は電源プラグをコンセントから抜き、ブレードのテンションをゆるめてください。
- 必ずスイッチを「OFF」にして電源プラグを抜いてから行ってください。
- ブレードは刃物です。取扱いは手袋を着用して行ってください。

必ず以下の作業手順に従って使用してください。

作業手順



ブレードの調整

※ホイールケースをあける際、⊖マイナスドライバーもしくはコインが必要です。セットには含まれておりませんのでお手持ちのものをご用意ください。

ブレード調整の流れ

ブレードがホイールから外れている時、または調整時に外れてしまった時は、P.20「ブレードの取付け」を参照してください。

ブレードの取付け

P.20 参照

ブレードを張る

ブレードテンションの調整
ホイールの位置を変える

ブレードの軌道を調整

ブレード軌道調整
ホイールの傾斜を調整する

使用前の準備(続き)

ブレードテンションの調整

警告

- ブレードの張りは強すぎると破損、弱すぎるとホイールから外れます。張りの強さを指で押して3~4mmたわむ位にしてください。

①まず、上下ホイールケースのケースロックをお手持ちの⊖マイナスドライバーやコインなどで回してあけます。

②ブレードテンション調整ノブを回して調整します。

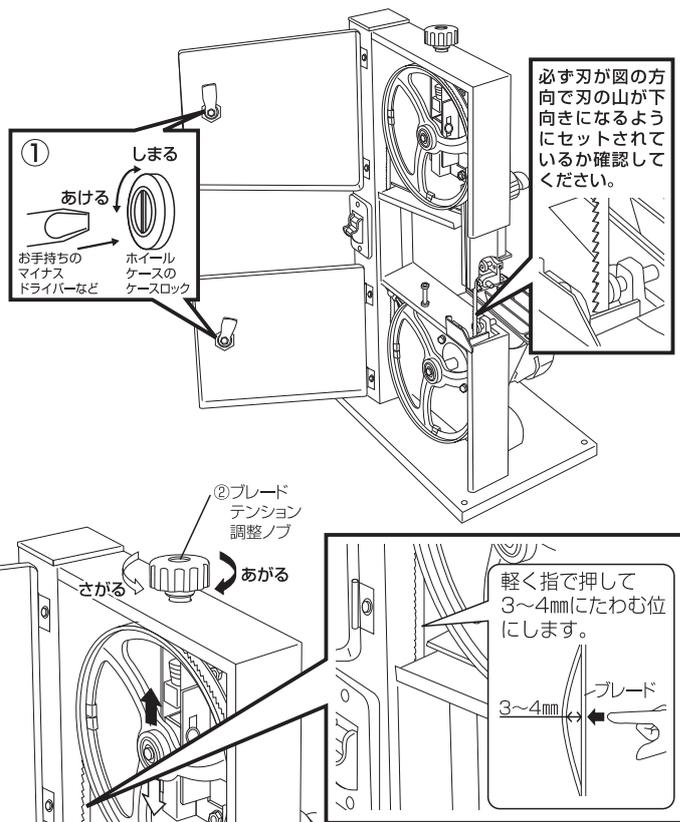
ブレードテンション調整ノブ	ブレードの張り
右回し(時計回し)	⇒ 強くなる(ホイールが上がる)
左回し(反時計回し)	⇒ 弱くなる(ホイールが下がる)

※張りの強さは軽く指で押して3~4mmたわむ位にしてください。

※張りは強すぎると破損、弱すぎるとホイールから外れます。

作業終了後は…

ブレードのテンションをゆるめておいてください。
テンションをかけたままですとブレードの寿命が短くなります。



ブレード軌道調整

警告

- 軌道調整時、ブレードが飛び外れる場合があります。注意してください。
- ブレード軌道調整ノブは少しずつ回してください。回し過ぎますとブレードが外れて大変危険です。
- 運転中はブレード軌道調整ノブを絶対に回さないでください。大変危険です。

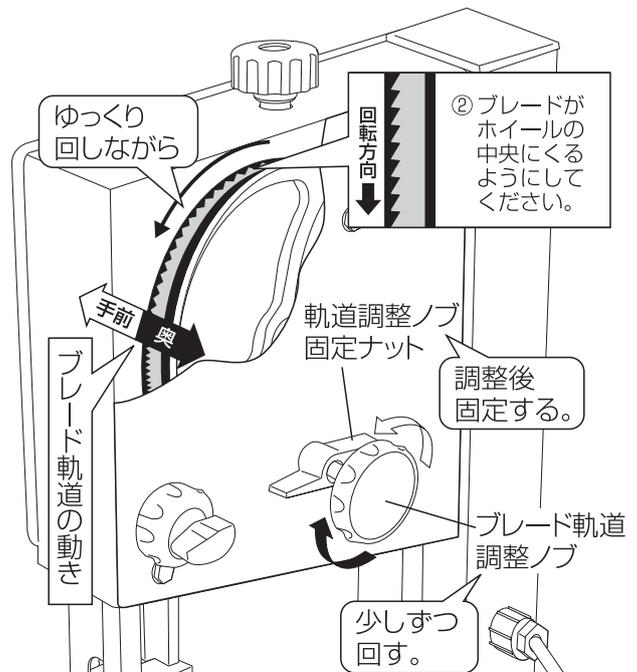
①軌道調整ノブ固定ナットを左へ回してゆるめます。

②ホイールを手でゆっくり回しながらブレード軌道調整ノブを回し、ホイール上でブレードを移動させて中央の位置になるように調整してください。この時、下のホイールを回すと障害物がなくスムーズに回せます。

ブレード軌道調整ノブ	ブレード移動方向
右回し(時計回し)	⇒ 奥側
左回し(反時計回し)	⇒ 手前側

③ホイール上でブレードが中央で回転したら、速く回転させて変化がないか確認してください。(10周以上回してください。)

④調整後、必ず軌道調整ノブ固定ナットを右へ回して固定してください。

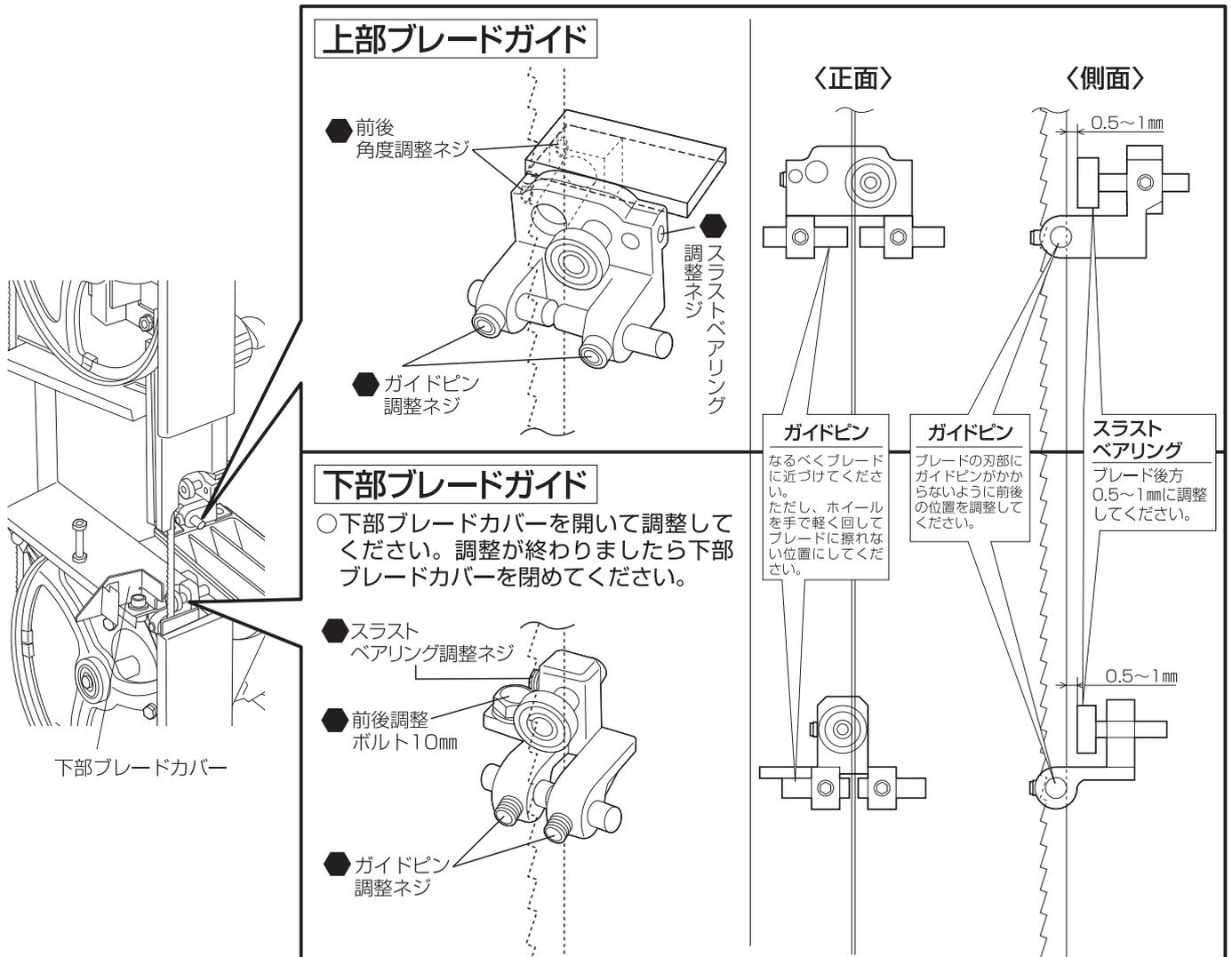


ブレードガイドの調整



※前後調整ボルト10mmを調整する際は、付属のスパナの他にナットが回らないようにするため、もう1つスパナ10mmもしくは、ペンチなどが必要です。セットには含まれておりませんのでお手持ちのものをご用意ください。

○付属の六角棒レンチ3mm・スパナ10mmを使用してブレードガイドのガイドピン、スラストベアリングの位置を各調整ネジで下図のように調整してください。



使用前の準備

【ブレードの調整、ブレードガイドの調整がおわりましたら】

- ①P.14 **ホイールダストブラシ**を参照にホイールダストブラシの調整を行ってください。
- ②工具類の取外し確認（ホイールケース・ブレードガイド確認）をしてください。
- ③ホイールを手で回してブレードとブレードガイドが触れていない事を確認してください。
- ④上下ホイールケースを閉じてケースロックをお手持ちの⊖マイナスドライバーなどで回して閉めます。

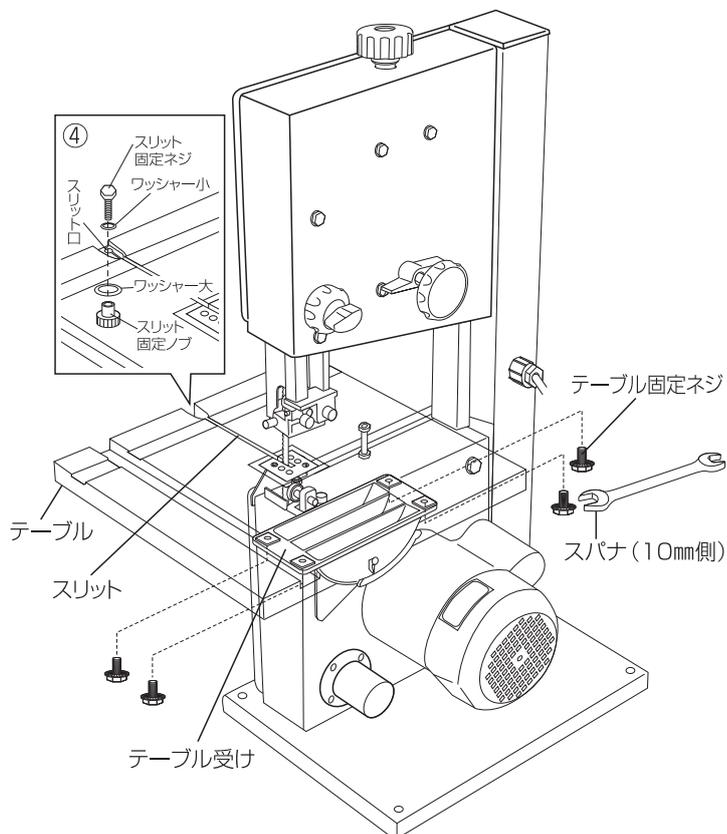
使用前の準備(続き)

テーブル・その他の取り付け

テーブルの取り付け

○テーブル受けは梱包時傾斜した状態になっています。P.14 **テーブルの角度調整**【水平】を参照しテーブル受けを水平にしてから取付けてください。

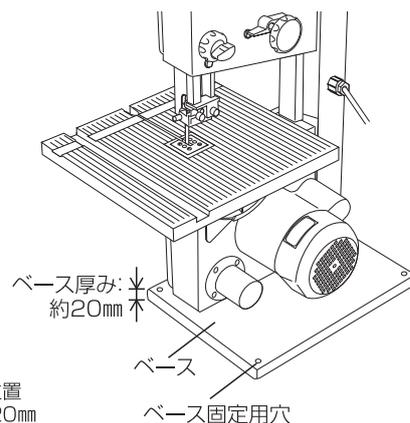
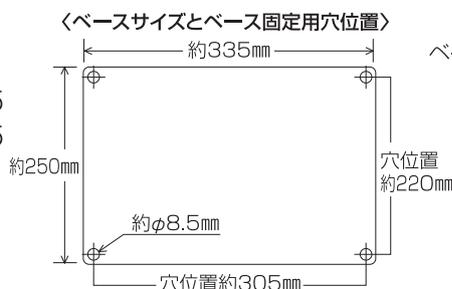
- ①テーブルのスリットにブレードを通してテーブルのネジ穴と、テーブル受けのネジ穴をあわせませます。(4ヶ所)
- ②あわせたネジ穴にスパナの10mm側を使用してテーブル固定ネジでテーブルを固定します。(4ヶ所)
※ネジは4ヶ所全て仮締めしてから均等に本締めしてください。
はめ込み後、テーブルとブレードが触れていないことを確認してください。
※触れる場合はテーブルの取付けが不十分ですのでガタツキがないよう再度しっかり取付けてください。
- ③テーブルのスリット口をスリット固定ネジ・スリット固定ノブ・ワッシャー(大・小)で固定します。



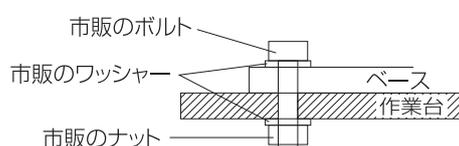
本体の据え付け

本体を作業台などに固定して使用する場合は傾斜のない平らで安定した場所に据え付けてください。

- ①本体のベース固定用穴(4ヶ所)にあわせて作業台に約 $\phi 8.5\text{mm}$ の穴をあけます。



- ②市販の $\phi 8.0\text{mm}$ ボルト・ナット・ワッシャーを使用して本体のベースと作業台を固定してください。
※ボルト・ナット・ワッシャー等は作業台の厚みなどを考慮して別途ご購入ください。



各部の調整

テーブルの角度調整

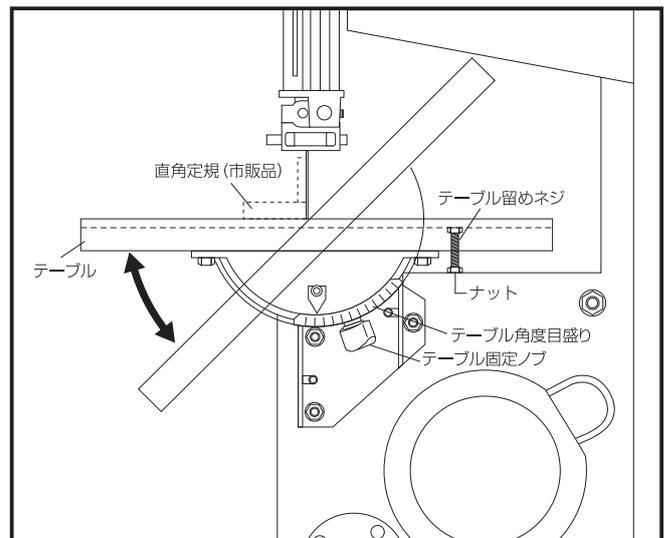
警告

- テーブルの角度調整をした際、ブレードとテーブルが接触していないか確認してください。
- テーブル角度目盛りはあくまで目安です。精度を要する場合は市販の測定器具で調整してください。

○上部ブレードカバーを限界まで上げてください。(本ページ **上部ブレードカバーの調整** 参照)

【水平】

- ①テーブル固定ノブを左に回してゆるめ、テーブル角度目盛りを 0° に合わせます。
※目盛りはあくまで目安です。
精度を要する場合はテーブルに市販の直角定規などを置いてブレードに当ててください。ブレードに対してテーブルが直角になるようにテーブルを調整してください。
- ②テーブル固定ノブを右に回して固定します。
※テーブル留めネジのナットをスパナでゆるめ、テーブルと接触する位置までテーブル留めネジを回し、ナットをスパナで締めますと、次からの 0° (水平)調整を行いやすくなります。



【傾斜】

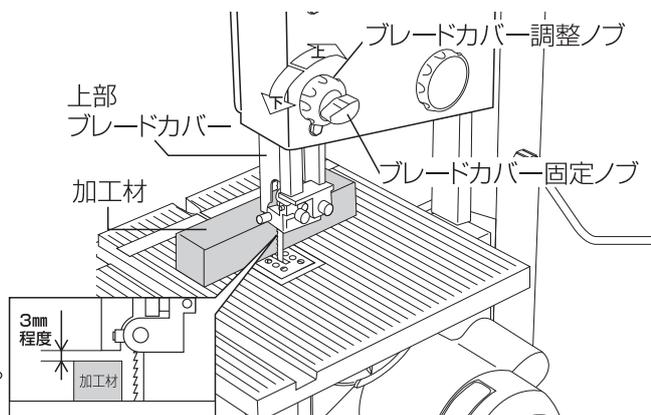
- テーブル固定ノブを左に回してゆるめ、傾斜角度を決めてから、テーブル固定ノブを右に回して固定します。
※目盛りはあくまで目安です。

上部ブレードカバーの調整

テーブルと上部ブレードカバーは最大約80mmまで開くことができます。

安全と歪みの少ない作業のために加工材の厚みに合わせて3mm程度のスキマができるくらいに上部ブレードカバーを移動させてください。

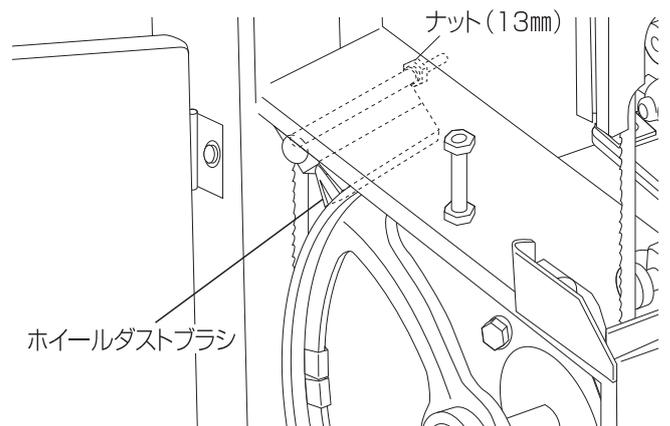
- ①ブレードカバー固定ノブを左に回してゆるめます。
- ②ブレードカバー調整ノブを回して、加工材とのスキマが3mm程度になるように位置を調整します。
- ③ブレードカバー固定ノブを右に回して固定します。



ホイールダストブラシ

下のホイールケースの中にブレード・ホイールを切りクズから防ぐため、ホイールダストブラシが付いています。

- ホイールダストブラシがホイールに適度に触れているか確認してください。
ホイールに触れていなかったり、ホイールに強く当たり過ぎて回転に支障をきたす場合はお手持ちのスパナでナットを回してゆるめ、ホイールダストブラシの位置を調整してください。調整後ナットを回して固定してください。



使用前の準備(続き)

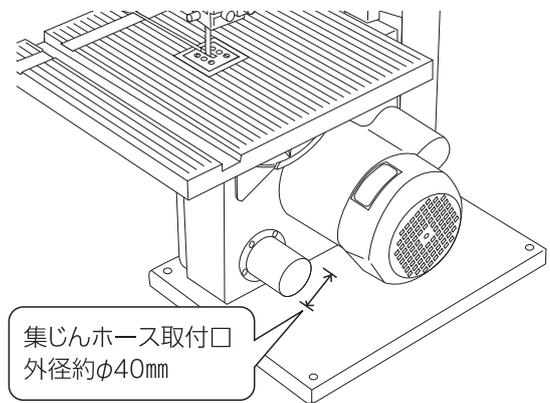
集じんホース取付口

警告

- 切りクズはとて細かく材料によって人体に悪影響をおよぼすものもあります。ご注意ください。
- 切りクズは作業場を汚し、浮遊しやすく排除しにくいものです。室内での作業はご注意ください。
- 切りクズが本体内部外部にたまりますので定期的に取り除く必要があります。

集じんホース取付口に集じん機の吸い込み口を接続すると切りクズを吸い取って作業が行い易くなります。集じんホース取付口は外径約φ40mmです。集じんホース取付口に集じんホースを取付ける際は抜けないようにしっかり差し込んでください。

- ※切りクズすべてが吸い取れる訳ではありません。
- ※集じん機の吸い込み口の形状・寸寸によっては取り付けることのできない場合があります。集じんホース取付口の寸法を参照してください。



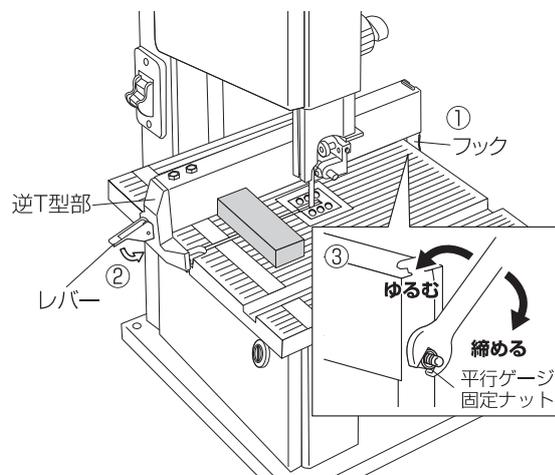
平行ゲージの取付け

まっすぐに切る場合に使用します。

- ①平行ゲージのフックをテーブルにかけます。
- ②レバーをたおして固定してください。
- ③固定が弱かったり強すぎる時は平行ゲージ固定ナットを付属のスパナでまわして調整してください。

※平行ゲージは逆T型部とテーブルが接してブレードに対し平行になるようにしておりますが、取り付けのズレなどで平行にならない場合がございます。定規などで調整することをおすすめします。

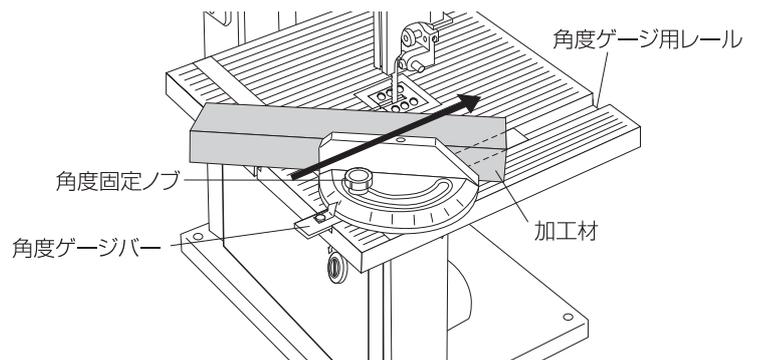
※外す場合は逆の手順で外してください。



角度ゲージの調整

角度をつけて切る場合に使用します。

- ①角度ゲージバーをテーブルの角度ゲージ用レールにはめます。
- ②角度固定ノブをゆるめて角度ゲージの角度を目盛りを目安に決め、角度固定ノブで固定します。(※目盛りはあくまで目安です。)
- ③加工材を角度ゲージにあてて角度ゲージごとスライドさせて切断位置を決めます。
- ④決まりましたらそのまま角度ゲージごとスライドさせて切断します。



使い方

使用について

警告

- ご使用前ごとに必ずブレードテンション・軌道調整を行い、無負荷で1分以上の試運転をして機械の破損・異常振動やブレードのブレなどの異常がない事を確認してください。初めて使用の際・ブレードを交換した際は3分以上行ってください。
- 運転中にブレードテンション調整ノブやブレード軌道調整ノブは絶対に回さないでください。ブレードが外れたり、破損し大変危険です。各種調整も必ずスイッチを「OFF」にして、電源プラグを抜いてから行ってください。
- 電源プラグをコンセントに差し込む時は、ホイールケースを閉めた状態で本体を平らで安定するところに設置して行ってください。
- 電源プラグをコンセントに差し込む時、抜く時は、必ずスイッチが「OFF」になっていることを確認してください。

サーモスタット装置について

サーモスタット装置とは、温度が上昇した時（モーター温度約120℃）に自動的に電源が切れ、モーターが止まる安全装置です。サーモスタット装置が作動した時は、必ずスイッチを切り、電源プラグを抜いてください。温度が下がると通電するようになりますので、点検して異常が見えたらなければ、スイッチを入れて、再使用してください。

※サーモスタット装置が作動したまま、スイッチを切らずに放置しますと、自動復帰して電源が入り、モーターが作動してしまう事故につながる恐れがあります。サーモスタット装置が作動した時は、必ずスイッチを切ってください。

使用の流れ

試運転

使用方法

保守・点検

作業終了後は…

ブレードのテンションをゆるめておいてください。
テンションをかけたままですとブレードの寿命が短くなります。

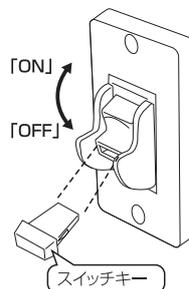
試運転

スイッチの操作

注意

- 本品は安全のため、スイッチキー方式になっています。スイッチキーの紛失にご注意ください。
- スイッチキーを差し込む際は電源プラグが抜いてあること、スイッチがOFFになっていることを確認し差し込んでください。スイッチキーを抜く際はスイッチが「OFF」の状態で行なってください。

- スイッチを「OFF」側にしてスイッチキーを抜きます。スイッチを「ON」側にしてもスイッチは入りません。
- スイッチキーを差し込んだ状態で「ON」側にすると作動します。



試運転

- 電源プラグをコンセントに差し込み、スイッチを入れてください。
- バンドソーはスイッチを入れた直後は回転が不安定で本体・テーブルなどが振動したりする場合があります。1分程回転させても安定しない場合は以下の点を確認・点検してください。
- ※確認・点検をする場合はスイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。

- ブレード取付け方
 - ホイールの上で偏っていないか
 - ガイドピンなどに接触していないか
- ホイール(上・下)の点検
 - ホイールの取付けネジなどがゆるんでいないか
 - 切りクズなどがたまっていないか
- 本体がぐらつかない平らな安定したところに設置してあるか

使い方(続き)

使用方法

警告

- 上部ブレードカバーは必ず加工材とのスキマが3mm程度になるように調整してください。調整せずにブレードが露出したまま使用するとケガの恐れがあり大変危険です。
- 加工材の切断後、切り落とし側の材料が倒れたり落ちたりして回転中のブレードに当たらないように注意してください。テーブルからはみ出す加工材の重みで切断後バランスがくずれないように注意してください。テーブルと同じ高さに台を設けるなどしてください。
- 保持・固定のできない小さなもの・安定しない丸太などの切断は危険ですのでおやめください。また加工するものは、しっかり保持・固定して作業してください。
- 大変危険ですので、回転中、ブレードやその付近に手や顔などを近づけないでください。切り進めているとき加工材を送る手はブレードになるべく離れた位置になるようにしてください。また、切りクズなどを払う場合は必ずスイッチを切り、電源プラグを抜いた状態で行ってください。
- 加工材を無理に押ししたり、回したりしますとブレードが変形・破損し、故障・ケガの原因となります。
- 切断途中でブレードを回転させたまま加工材を戻さないでください。ブレードがホイールから外れたり、折れる原因になります。加工材を戻す場合はスイッチを切り、回転が完全に止まってから戻してください。
- 加工材の中に釘・ネジなどの異物がないことを確認してください。ブレードの破損だけでなく強い反発力が生じケガの原因になります。

注意

- 切断する加工材はしっかり保持してください。
- 本品の切断能力(加工材の厚み)は(テーブル水平時:最大約80mm)です。ふところ奥行は約195mmです。切断能力を超える作業はできません。
- 本品はバンドソーであるため、その構造により切り抜き(穴あき)切断はできません。

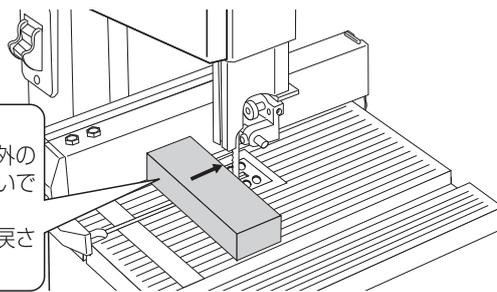
○加工材の厚さに合わせて上部ブレードカバーを調整してください。(P.14 **上部ブレードカバーの調整** 参照)

直線切断

※平行ゲージ・角度ゲージのご使用をおすすめします。

- スイッチを入れて回転が安定したら加工材をブレードに軽く押しあてながらゆっくり切断してください。この時、切断方向以外の向きに強い力を加えないように注意してください。

軽く押ししてください。
無理な力や切断方向以外の向きに強い力を加えないでください。
また切断中に加工材を戻さないでください。

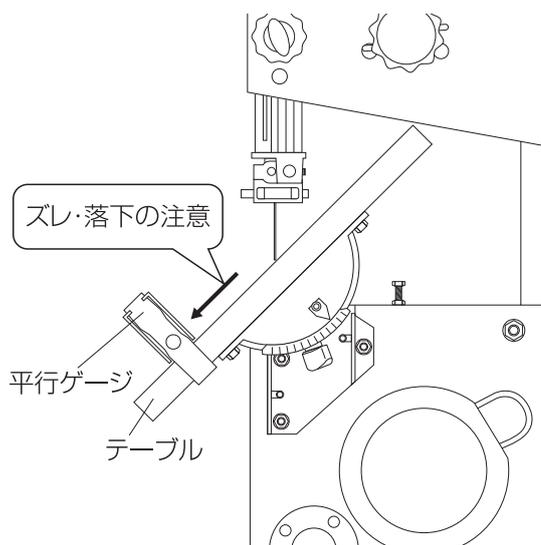


【傾斜切断】

注意

- テーブルがバンドソーに触れていないことを確認してください。
- 傾斜によりズレ・落下しやすくなっていますので加工材をしっかり保持してください。

○テーブルの角度調整はP.14 **テーブルの角度調整** を参照して行ってください。



曲線切断

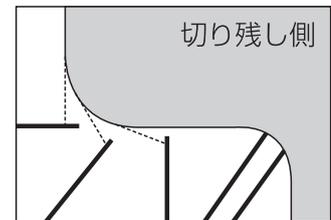
警告

●テーブルにブレードが接触したり、負荷のかかりすぎるような小さな曲線切りはできません。ブレードの破損につながり大変危険です。ブレードがねじれないよう慎重に加工材を回すように送ってください。

注意

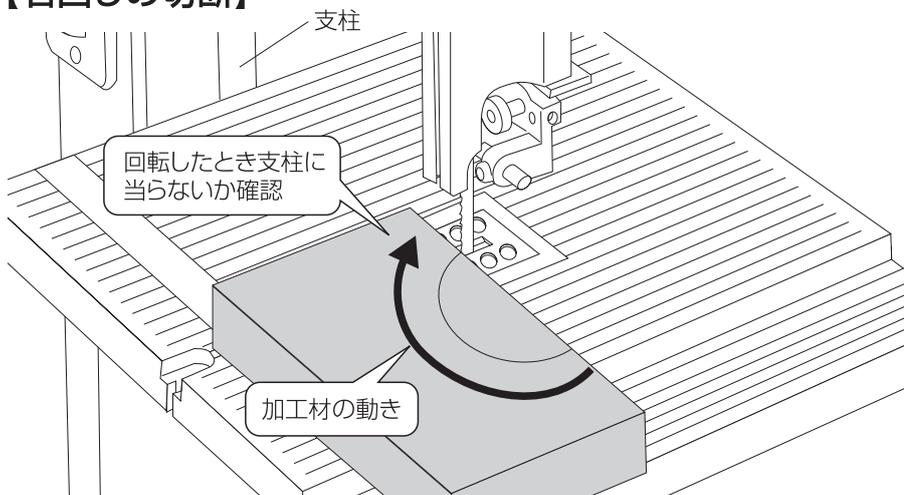
- 曲線切断は（●切断幅（厚み）
●曲線の半径
●加工材の硬さ）により切断できない場合があります。
- 半径の小さな曲線は一度で切ろうとせずに細かく切り落とすように曲線を切り出してください。無理に半径の小さな曲線を切ろうとすると、負荷がかかりすぎ、切断面が焼けたり切断できずにモーターがロックします。
- 加工材を回して切断する際は、加工材が支柱に当たらないようにふところ奥行（ブレードと支柱の間の距離）を考慮・確認のうえ行ってください。

○あらかじめ補助カットを入れておくと安全に切断することができます。



補助カット

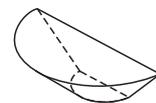
【右回しの切断】



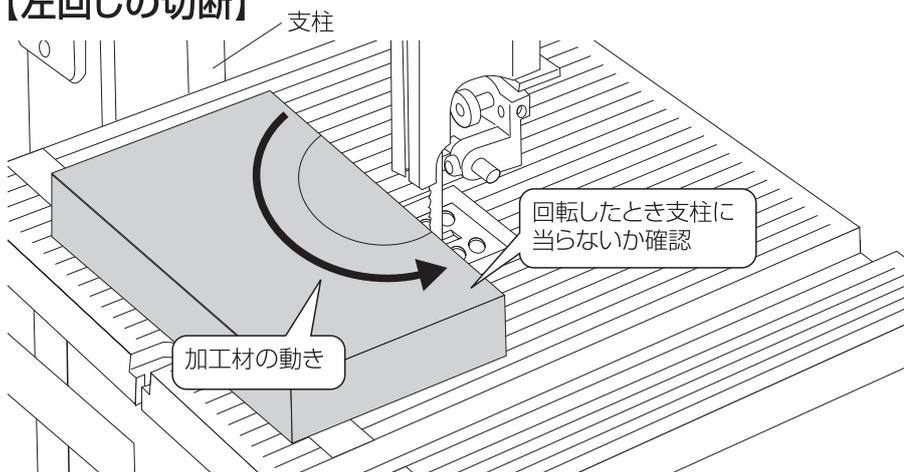
テーブルを0°（水平）にした場合



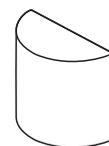
テーブルを45° 傾斜させた場合



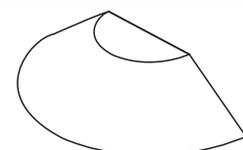
【左回しの切断】



テーブルを0°（水平）にした場合



テーブルを45° 傾斜させた場合



使い方(続き)

交換用バンドソーブレードについて

交換用(専用)バンドソーブレード

本機で使用できるバンドソーブレードは

EARTH MAN 卓上木工バンドソー替ブレード1400mm です。(詳しくはP.22 参照)

このバンドソーブレード以外は使用しないでください。

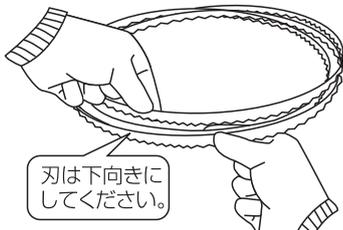


バンドソーブレードの開き方

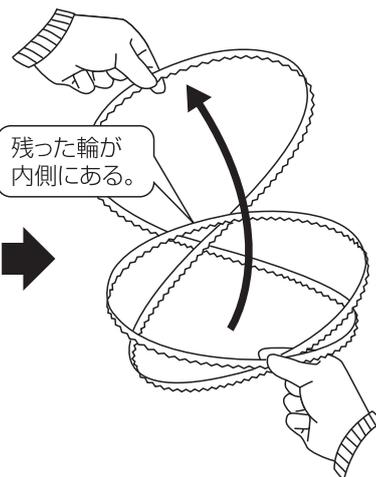
警告

- バンドソーブレードは刃物です。取扱いには十分に気をつけて滑り止めのついた手袋を必ず着用してください。刃先が傷つかないようダンボールの上などで行ってください。
- バンドソーブレードはねじり巻いてあります。開くとき反発力でケガをする恐れがあります。保護メガネを着用し、周囲に気を配り、しっかり保持しながら開いてください。また、大変危険ですので絶対に顔などを近づけないでください。

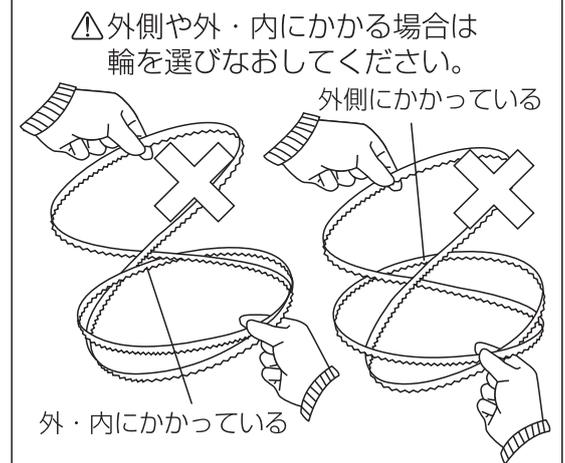
- ①ブレードを止めているハリガネを外してください。
- ②刃を下向きにして持ち、左手で一つの輪を、右手で残った二つの輪をつまんでください。左手の輪を持ち上げた場合、残った輪が内側になるようにしてください。



刃は下向きにしてください。



残った輪が内側にある。

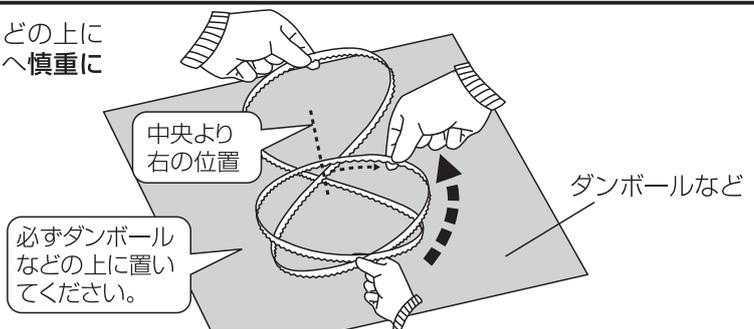


△外側や外・内にかかる場合は輪を選びなおしてください。

外側にかかっている

外・内にかかっている

- ③輪がほどけないようにするため、ダンボールなどの上になず置き、右手を残った輪の中央より右の位置へ慎重に持ち替えてください。

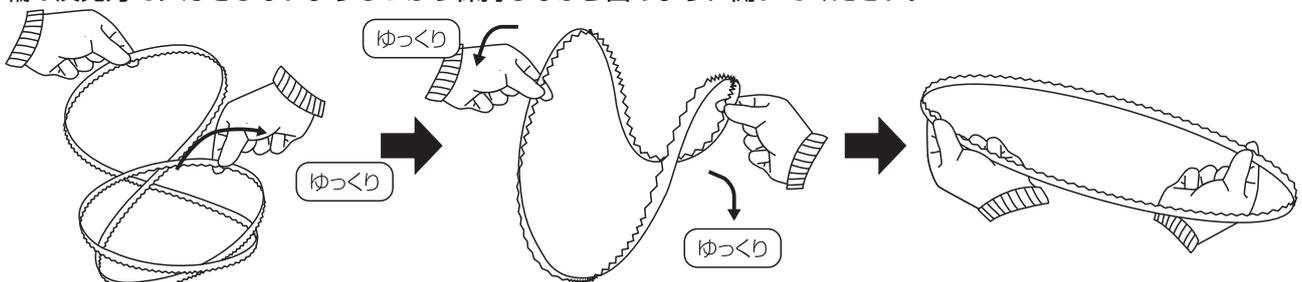


中央より右の位置

ダンボールなど

必ずダンボールなどの上に置いてください。

- ④輪の反発力でケガをしないようしっかり保持しながら図のように開いてください。



ゆっくり

ゆっくり

ゆっくり

ブレードの取り付け・取り外し

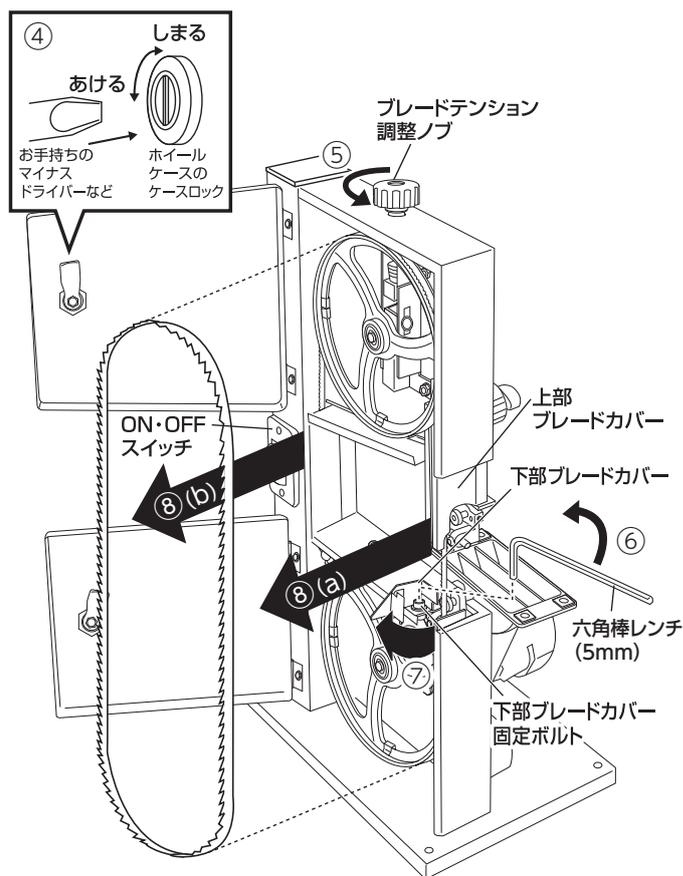
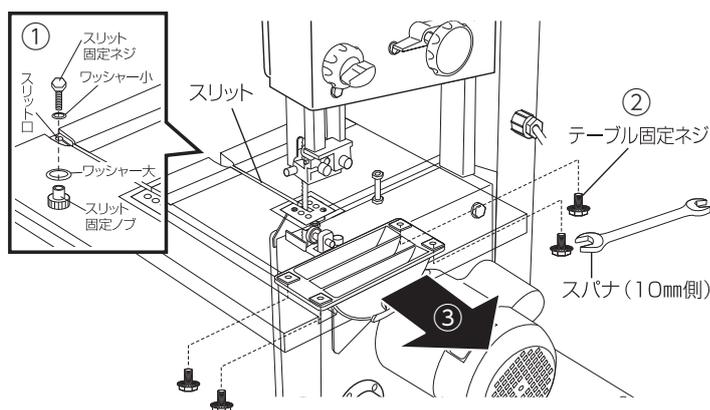
警告

- 必ずスイッチを「OFF」にして電源プラグを抜いてから行ってください。
- ブレードは刃物です。取扱いは手袋を着用して行ってください。

ブレードの取り外し

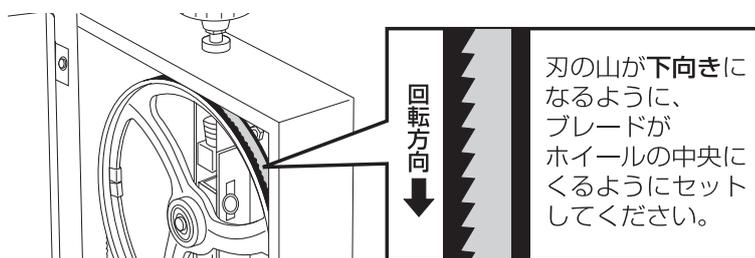
- ①スリット固定ネジ・スリット固定ノブ・ワッシャー（大・小）を取り外します。
- ②付属のスパナ（10mm）を使い、テーブル固定ネジを4ヶ所外します。
- ③テーブルを取り外します。
- ④上下ホイールケースのケースロックを、お手持ちのマイナスドライバーやコインなどでまわして開きます。
- ⑤ブレードテンション調整ノブを矢印の方向に回してゆるめます。（ホイールが下がりブレードがゆるみます。）
- ⑥下部ブレードカバー固定ボルトを付属の六角棒レンチ（5mm）でゆるめてください。
- ⑦下部ブレードカバーを開きます。
- ⑧(a) 上部ブレードカバー・(b) ON・OFFスイッチ横のスリットから、ブレードを外して引き出します。

※バランスよく引き出さないとブレードがねじれたり、絡まったりします。
注意して慎重に取り外してください。



ブレードの取り付け

- ①ホイール・ブレードにゴミや油が付着した状態でセットすると、ブレードが外れる原因となり大変危険です。よく清掃してください。
- ②ブレードの取り外しと逆の手順でブレードを取り付けます。
- ③ブレードの取り付け後、必ずブレードの調整を行ってください。
P.10~11 **ブレードの調整** 参照。



お手入れ

保守・点検

警告

- お手入れのときは必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 故障・異常時はただちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて本製品の使用を中止し、お買い上げの販売店にお申し付けください。または(株)高儀「お客様相談窓口」(ホームページ含む)に相談してください。

- 機械は定期的に手入れをしてください。安全な作業ができるように常にきれいにし保守点検を心がけてください。
- お手入れをする時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
- ブレード(刃物)はお手入れをこまめにし、よく切れる状態に保ってください。
- ブレードが摩耗して切れなくなったり異常がある時は、新しい交換用の替ブレードに交換してください。
- 故障の際にはご自分で分解・改造せずに必ず修理に出すようにしてください。
- 常に清潔に保管してください。定期的に点検清掃することが安全、長寿命の基本です。
- 本体をゴミ、ホコリの多い場所、高温や直射日光のあたる所、湿気が多い所、風通しの悪い所、お子様の手の届く所には保管しないでください。
- 製品が汚れた時は柔らかい布で水拭きしてください。汚れの著しい場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。(乾いた布で水分を残さないように拭き取ってください。)また、シンナー、ベンジン、アルコール類などの使用は、材質の劣化を招きますので、絶対に使用しないでください。
- 回転部には、切りクズやゴミが詰まらないように取り除いてください。動作不良や故障の原因になります。

●ブレードのテンション解除

作業終了後はブレードのテンションをゆるめておいてください。
テンションをかけたままですとブレードの寿命が短くなります。

清掃

●切りクズの清掃

集じんホース取付口を使用して集じん機による集じんをしてもすべてが吸い取れる訳ではありません。

使用後は〔ホイールケース内、ホイール、ダストブラシ
ブレードガイド、スラストベアリング、ガイドピンなどに切りクズがたまります。

そのまま放置しますと可動部などが動かなくなります。

細部には、市販のブラシを用いて切りクズを取り除いてください。

また、ホイールとブレードの間にも切りクズが介在します。取り除いてください。

●ブレードの清掃

ブレードに汚れがありますとすぐにブレードが錆びてきます。

汚れは乾いた布などでキレイに拭き取ってください。

長期間使用しない場合は本体から取り外して厚めのビニール袋などに入れて湿気から守ってください。

お買い上げの後に

別売品のご紹介

- 本製品をお買い上げの販売店又は、(株)高儀ホームページ(本書最終ページ参照)内の「お問合せ」よりお買い求めください。ご注文のときは、下記の品名・型式・JANをお伝えください。

品名	EM 卓上木工バンドソー 替ブレード 1400mm	
型式	No.1	
JANコード	4907052 379909	

お買い上げの後に(続き)

保証書

販売店名・お買い上げ年月日を証明できる物(販売証明書やレシートなど)が添付されていない場合、本書は無効となり、保証期間内であっても有料修理となります。必ずご確認ください。

- 保証期間内において取扱説明書などの注意書に従い、正常な使用・保管状態で故障した場合、本書により無償で修理致します。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合には、製品と本書に販売証明を付けた物をご持参のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。

品名	EM 卓上木工バンドソー			お買い上げ日	年 月 日
型式	RBS-195A	JAN コード	4907052 377400	保証期間	お買い上げ日より6か月
販売店	販売証明書や レシート等を 添付してください。				

保証規定

1. 保証内容は本製品自体の無償修理に限ります。
保証期間内におきましても、その他の保証はいたしかねます。
2. 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - 使用上の誤り及び不当な修理・改造による故障及び損傷。
 - お買い上げ後の輸送・移動・落下等による故障及び損傷。
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災・異常電圧による故障及び損傷。
 - 家庭用以外(例:業務用の長時間使用、車輛・船舶への搭載等)に使用された場合の故障及び損傷。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書に販売店名・お買い上げ年月日を証明できる物が添付されていない場合、あるいは字を書き換えられた場合、個人販売など販売店が不明な場合。
3. 本書は付属品・消耗品には適用されません。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は最初の購入にのみ適用され、以降の転売・譲渡には適用されません。
6. この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
7. 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店又はホームページからお問い合わせください。
 - 修理可能な場合は、お客様のご希望により有料で修理させていただきます。
8. 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、基本5年間保有しています。*
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
*製造部品によっては5年間保有できない場合もあります。

発売元  株式会社 高儀

株式会社 高儀 お客様相談窓口

*修理(見積り含む)・部品購入は、お買い上げの販売店又はホームページからお問い合わせください。

TEL 0258-66-1233

受付時間 AM9:00~PM5:00 (土日祝日及び弊社休日を除く)

ホームページ:

<http://www.takagi-plc.co.jp/>



■お客様相談窓口における個人情報の取扱い

弊社は、お客様へのサービス提供のため、収集目的を通知したうえで必要な範囲の個人情報や相談内容を収集させていただき、その記録を残すことがありますが、個人情報を適切に管理し、修理業務などのサービスを行うために必要な範囲内で開示する場合や、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。